

9 将来にわたる実質的な財政負担

将来にわたる実質的な財政負担（地方債現在高＋債務負担行為額－積立金現在高）は、地方債現在高の減少及び積立金現在高の増加により、前年度より 63 億 8,063 万 8 千円（1.1%）減少し、5,721 億 9,442 万 3 千円となった。

第 15 表 将来にわたる実質的な財政負担の状況 (単位：百万円、%)

区分	令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
地方債現在高 A	679,004	684,858	△5,854	△0.9
債務負担行為額 B	97,037	93,487	3,550	3.8
積立金現在高 C	203,846	199,770	4,076	2.0
将来にわたる実質的な財政負担 A+B-C	572,194 (1.54)	578,575 (1.59)	△6,381	△1.1
(対標準財政規模※20年度から臨時財政対策債発行可能額を含む。)	※臨時財政対策債発行可能額を除いた場合は、1.62	※臨時財政対策債発行可能額を除いた場合は、1.68		

注) 表示単位四捨五入の関係で、計が一致しない場合がある。

第 11 図 将来にわたる実質的な財政負担の推移

